

スポーツ庁委託事業「令和7年度パラスポーツ推進プロジェクト」

みやぎ小学生ボッチャクラシック2025 ～インクルーシブ頂上決戦～

# ● 実施報告書 ●

【大会サイト】【Instagram】【YouTube】



キミの一投が  
心を沸かす。



一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会

みやぎ小学生ボッチャクラシック2025実行委員会

令和8年 1月



## ボッチャを通じて共生社会の実現を目指すインクルーシブな大会へ

スポーツは、障害の有無や固く閉じていた価値観の「扉」を開放し、私たちをひとつにする。



2020東京オリンピック・パラリンピックの開催により、スポーツを通じた共生社会の実現に向けた機運が醸成されましたが、障害のある方が生涯にわたってスポーツを実施するための環境整備や、障害のある方とない方が身近な場所でスポーツをともに楽しむ機会の創出等には様々な課題があり、障害者スポーツ（パラスポーツ）の更なる振興に繋げるためには、普及拡大のための環境整備が必要です。

2025年、一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会は、スポーツ庁「令和7年度パラスポーツ推進プロジェクト(パラスポーツの実施環境の整備等に向けたモデル創出事業)」の公募に応募をし、「みやぎ小学生ボッチャクラシック2025～インクルーシブ頂上決戦～」の企画が採択されました。

この競技会は、「通常の学級に在籍する児童と、特別支援学級または特別支援学校に在籍する児童による合同チーム」を出場条件とし、多様な社会資源との連携、県民のパラスポーツに対する興味・関心を高め、児童の心の成長や、活力ある共生社会の実現をはじめとした社会課題の解決に向けた取り組みを図ることを目指します。

共生社会の学びと交流、多様性を認め合うインクルーシブな社会の構築、多様な社会資源との連携、児童の心の成長等、様々なポテンシャルを秘めている「みやぎ小学生ボッチャクラシック」。2025年11月、「キミの一投が心を沸かす。」大会の歴史がスタートしました。

### 大会コンセプト

パラスポーツを身近に感じてもらう

共生社会の学びと交流の場

支え合って競技に挑戦する



## みやぎ小学生ボッチャクラシック2025 ～インクルーシブ頂上決戦～ (スポーツ庁「令和7年度パラスポーツ推進プロジェクト」委託事業)

### 1. 目 的

- (1) 障害の有無にかかわらず、共にスポーツを楽しみ、支え合いながらボッチャ競技に挑戦する経験を通じて共生社会の学びと交流を深め、多様性を認め合うインクルーシブな社会の構築を目指す。
- (2) 多様な社会資源との連携を通じて、県民のパラスポーツに対する興味・関心を高め、児童の心の成長や、活力ある共生社会の実現をはじめとした社会課題の解決に向けた取り組みを図る。








### 2. 主 催

一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会 / みやぎ小学生ボッチャクラシック2025実行委員会

### 3. 共 催

富谷市

### 4. 後 援

宮城県 / 宮城県教育委員会 / 仙台市教育委員会 / 富谷市教育委員会 / 一般社団法人宮城県理学療法士会  
一般社団法人宮城県作業療法士会 / 公益財団法人宮城県スポーツ協会 / 朝日新聞社仙台総局  
産経新聞仙台支局 / 毎日新聞仙台支局 / 読売新聞東北総局 /  河北新報社 / **NHK** 仙台放送局  
 **TBC** 東北放送 /  **仙台放送** / **ミヤギテレビ** /  **KHB** 東日本放送 /  **fml** いざみ797 /  **Date fm** 77.1 / **J:COM** /  **RADIO3** FM 76.2

### 5. 協 力

宮城県特別支援学校校長会 / 宮城県特別支援学校PTA等連絡協議会 / 宮城県ボッチャ協会 / 宮城教育大学  
東北福祉大学 / 尚絅学院大学 / 東北文化学園大学 / 仙台青葉学院大学 / 仙台医健・スポーツ専門学校  
宮城県障害者スポーツ指導者協議会

### 6. パートナー

スポーツ庁「令和7年度パラスポーツ推進プロジェクト」 / 株式会社ジェー・シー・アイ / 株式会社テレコム  
リサーチ / 東北電力宮城支店 / ソニー生命保険株式会社 / 放課後等デイサービス太陽の子 / 株式会社秋茜  
Arch Party Mall / 株式会社マルタマ / アイリスオーヤマ株式会社 / 株式会社オンエモーション / ユニゾン  
株式会社 / サイト工業株式会社 / 協林工業株式会社 / 株式会社eプランニング / 株式会社鈴木製作所  
太陽地所株式会社 / 日新健工株式会社東北支店 / 株式会社エムズ工業 / 株式会社マイド / 株式会社昭和羽  
前建設工業 / ミカド電装商事株式会社 / 株式会社くるみの家 / 大王製紙株式会社仙台営業所 / 有限会社穂  
乃香 / シーホネンス株式会社 / 小野リース株式会社 / 白十字株式会社 / DENBA JAPAN株式会社  
株式会社ミツイ / 株式会社ラフライン / 日進医療器株式会社

### 7. 日 程

2025年11月30日(日)

### 8. 会 場

富谷武道館(宮城県富谷市一ノ関髙山6-8)

### 9. 参加資格

選手は、宮城県内の小学校または特別支援学校に在籍する3年生から6年生の児童で、4名以上、最大6名までとする。チーム編成は、通常の学級に在籍する児童と、特別支援学級または特別支援学校に在籍する児童による合同チームとし、特別支援学級または特別支援学校に在籍する児童を2名以上含むことを原則とする。



式典では、宮城県障害者スポーツ協会理事長（大会実行委員会会長）、富谷市長の挨拶をはじめ、参加児童による選手宣誓、関係団体やオフィシャルパートナーから温かいエールが送られました。



加藤 琥汰朗（かとう こたろう）さんと、荻野 咲良（おぎの さくら）さんによる選手宣誓。

## 【 宣 誓 】

私たち選手一同は、今日、勇気を出して大きな一歩にチャレンジをします。  
それは、お互いの違いを認め合い、協力してプレーすることです。  
「リスペクト」・「チャレンジ」・「エンジョイ」  
ボッチャクラシック・バリューのもと、みんなで勝利を目指します。



宮城県障害者スポーツ協会  
佐藤 敬広 理事長



富谷市  
若生 裕俊 市長



富谷市  
二階堂 浩一郎 教育長



後援（宮城県）・  
パートナー企業の皆様





# 熱戦の様子



支え合って勝利を目指す。チャレンジする。



心を沸かす一投



仲間とのコミュニケーション

～Respect (リスペクト) ・Challenge (チャレンジ) ・Enjoy (エンジョイ) ～



喜びを分かち合う



エンジョイすることがスポーツの本来の姿



仲間や相手を大切に思う心 (リスペクト)



「プレーヤーズファースト」でサポートする審判

温かい応援



# 来場者数

○大会当日

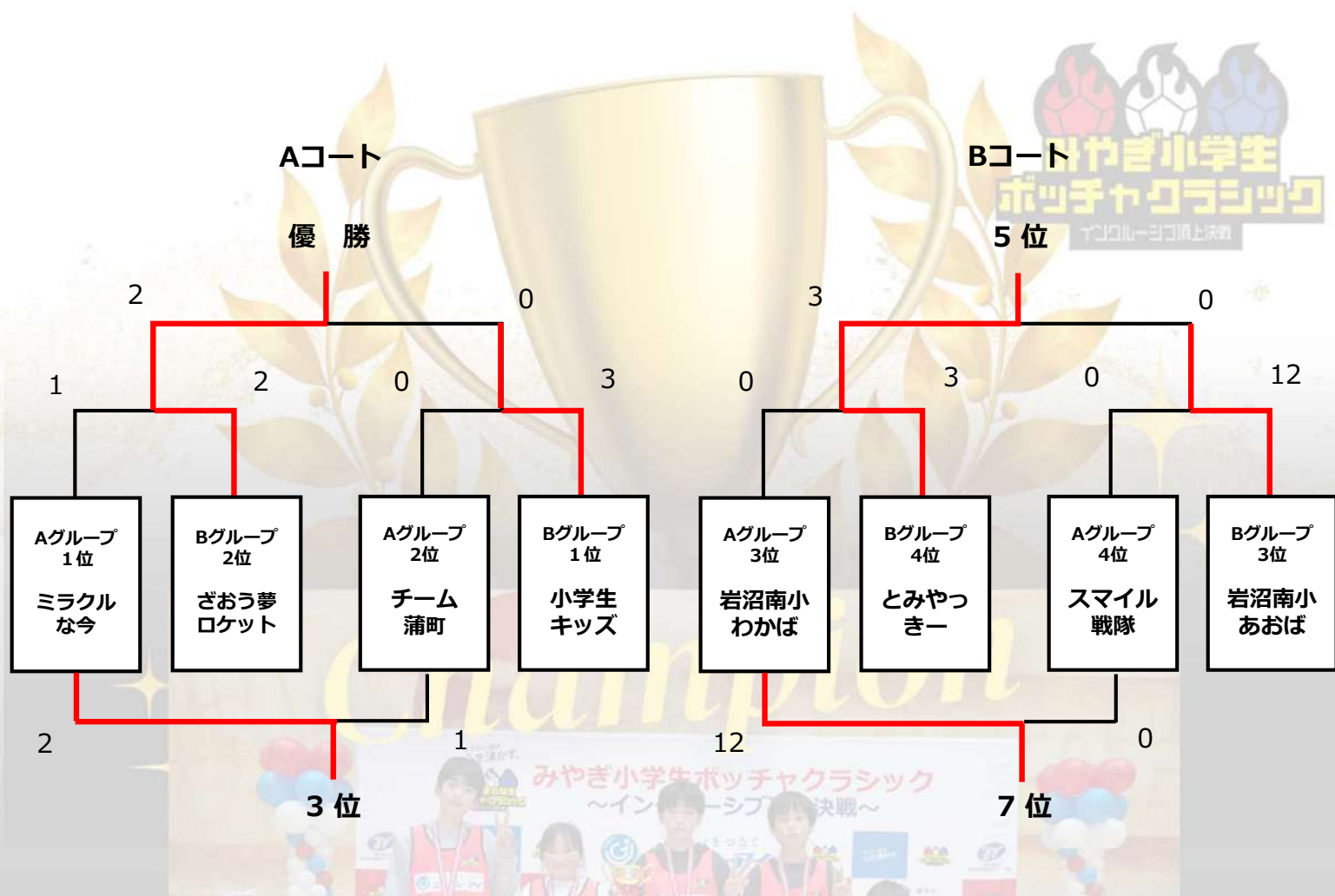
		人数
選手 ※（ ）は特別支援学級または特別支援学校に在籍する児童数		40 名（23 名）
チームスタッフ（監督・コーチ・ランプオペレーター・アシスタント）		24 名
運営・競技役員	宮城県障害者スポーツ協会	3 名
	宮城県ボッチャ協会	8 名
	宮城県障害者スポーツ指導者協議会	4 名
	大学・専門学校	32 名
	救護	2 名
実行委員		19 名
観客		96 名
撮影・配信業者		10 名
メディア関係者		3 名
合 計		241 名

## 試合結果（予選リーグ）

【Aグループ】 チーム名	チーム蒲町	岩沼南小わかば チーム	スマイル戦隊 ☆Heisei's	ミラクルな今	勝数	負数	総得点	総失点	得失点	順位
チーム蒲町		3 - 0	12 - 0	1 - 4	2	1	16	4	12	2
岩沼南小わかば チーム	0 - 3		12 - 0	1 - 1	1	2	13	4	9	3
スマイル戦隊 ☆Heisei's	0 - 12	0 - 12		0 - 12	0	3	0	36	-36	4
ミラクルな今	4 - 1	1 - 1	12 - 0		3	0	17	2	15	1

【Bグループ】 チーム名	とみやつきー	岩沼南小あおば チーム	ざおう 夢ロケット	小学生キッズ	勝数	負数	総得点	総失点	得失点	順位
とみやつきー		0 - 3	0 - 3	1 - 2	0	3	1	8	-7	4
岩沼南小あおば チーム	3 - 0		0 - 2	2 - 1	2	1	5	3	2	3
ざおう 夢ロケット	3 - 0	2 - 0		0 - 3	2	1	5	3	2	2
小学生キッズ	2 - 1	1 - 2	3 - 0		2	1	6	3	3	1

# 試合結果（順位決定戦）



順 位	チーム名 ( ) は児童の所属学校
優 勝	ざおう夢ロケット (蔵王町立宮小学校、角田市立桜小学校)
準優勝	小学生キッズ (西多賀支援学校、富沢小学校、吉成小学校、東長町小学校、柊江小学校)
3 位	ミラクルな今 (中野栄小学校、長町小学校、富沢小学校、南材木町小学校、船岡支援学校)
4 位	チーム蒲町 (七郷小学校・沖野小学校・南材木町小学校・荒井小学校)
5 位	とみやっきー (松陵支援学校富谷校・東長町小学校・小松島小学校・富沢小学校・八木山南小学校)
6 位	岩沼南小あおばチーム (岩沼南小学校)
7 位	岩沼南小わかばチーム (岩沼南小学校)
8 位	スマイル戦隊☆Heisei's (逢隈小学校・船岡支援学校・亘理小学校)



# 閉会式・表彰式

式典では、大会実行委員会副会長の講評をはじめ、オフィシャルパートナーから全チームへ記念品が贈呈されました。

スポーツ庁「令和7年度パラスポーツ推進プロジェクト」として実施された「みやぎ小学生ボッチャクラシック2025」。

スポーツを楽しみ、勝利を目指す中で、自然と支え合う姿、観客の皆さんの熱い声援など、心を沸かす大会となりました。



優勝した「ぞおう夢ロケット」



実行委員会  
渡辺 勝幸 副会長



主催・共催の  
代表者



式典担当の  
スタッフ



後援（宮城県）・  
パートナー企業の皆様





## 実行委員会の設置

地方公共団体、パラスポーツ団体、スポーツ・教育・福祉分野、民間企業等の代表者や有識者から構成される「みやぎ小学生ボッチャクラシック2025実行委員会」は、団体間の情報交換や事業の協働を通じて、障害の有無にかかわらず、ともに身近な場所でスポーツを実施できる環境整備を目的に意見交換を行いました。この連携を契機に、今後のパラスポーツ振興活動の推進や、県民のパラスポーツに対する興味・関心の高まり、活力ある共生社会の実現や多様性を認め合うインクルーシブな社会の構築をはじめとした社会課題の解決を目指します。



第1回実行委員会

## 参加者の募集（振興活動含む）

宮城県内の小学校や特別支援学校に通う児童に加え、放課後等デイサービス施設を利用する児童を主な対象として、参加者の募集を行いました。

小学校・特別支援学校・放課後等デイサービスを訪問した際には、先生方や職員の皆様から「学校の活動の中でボッチャを取り入れたい」、「放課後等デイサービス施設の行事としてボッチャ大会を開催したい」などのお言葉をいただき、目標としていた8チームが本大会に出場しました。



放課後等デイサービス施設への訪問の様子

## ボッチャアカデミーの開催

大会前の取り組みとして、ボッチャのルール理解や試合体験、チーム同士の交流等を目的に、本大会への出場が決定した選手を対象とした「ボッチャアカデミー」を開催しました。

大会で実際に使用する富谷武道館のコートにて、障害のある児童とない児童が交流する場となり、共生社会の学びと交流、多様性を認め合うインクルーシブな社会の構築、多様な社会資源との連携等を目指す取り組みの一環として、意義のある機会となりました。



ボッチャアカデミーの様子

## 実施環境を支えるステークホルダーとの連携体制

宮城県障害者スポーツ協会と「パラスポーツ振興に関する連携協定」を締結した富谷市との共催、後援には宮城県をはじめとした21団体、協力にはパラスポーツ団体、医療福祉関係団体、教育機関の10団体、オフィシャルパートナーとして、民間企業31社から大会をサポートいただきました。分野を越えた大規模な連携と協働は、県内のパラスポーツ振興活動において前例が少なく、県内における今後のパラスポーツ振興や、インクルーシブ社会の実現に向けた新たなモデルとなりました。

### 【地方公共団体との連携：宮城県富谷市】

市長訪問では、大会に向けた準備や協力体制について報告を行い、今後も富谷市と共に、多くの児童にとってより良い大会になるよう準備を進めていくことを確認しました。



市長訪問

### 【パラスポーツ関係団体との連携：宮城県ボッチャ協会・宮城県障害者スポーツ指導者協議会】

大会前のボッチャアカデミーでは、宮城県ボッチャ協会と宮城県障害者スポーツ指導者協議会のスタッフが先生役として児童のサポートを行いました。大会当日においても、運営や審判業務を協働し、専門知識や技術を活かしながら参加者をサポートしました。



審判（宮城県ボッチャ協会）の様子

### 【教育機関との連携】

宮城教育大学、東北福祉大学、尚絅学院大学、東北文化学園大学、仙台青葉学院大学、仙台医健・スポーツ専門学校の学生が、競技補助や運営業務を担当しました。スポーツ、教育、福祉、リハビリ、健康等、自身の専攻分野に合わせた業務を分担し、パラスポーツを通じた交流と学びの機会にも繋がりました。



特別支援学校教諭を目指す学生



円滑な業務を実施



## 【企業からの支援】

パラスポーツ振興活動に参画する企業を増やし、連携した事業モデルの創出を目的とした「パートナーシップ・プログラム」を通じて、今後の事業継続（自走化）や新規事業の創出に繋げる取り組みを行いました。多くの企業から共感をいただき、プログラムへの参画を通じて、パラスポーツ振興における新たな関係も構築されました。



優勝カップやメダル、記念品は全て企業からの協賛。

## 【専門職との協働】

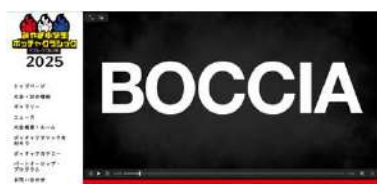
パラスポーツの普及・推進における重要な取り組みの一つである「情報発信・普及啓発の拡大」において、大会サイトやプロモーションムービーの制作、YouTubeライブ配信、SNSの発信、当日の試合速報、プロのカメラマンや司会との協働等、全方位的な情報支援を行いました。



デジタル技術と専門職の融合による情報支援

## 【広報制作物】

様々な広報ツールを制作し、参加者の募集、大会のPR、周知広報、当日の装飾等に活用しました。



大会特設サイト



プロモーションムービー



大会ロゴ



大会キャッチコピー



公式YouTubeチャンネル



公式Instagram



ポスター・チラシ



大会プログラム

【パートナーとのノベルティやグッズ】



企業ロゴ入りビブス



バックパネル



バルーンアート



ポップアップスタンド



パートナーパネル・パネルポスター



のぼり旗



オリジナルステッカー

メディア等の実績（2026年 2月 5日 現在）

【大会サイト】

総ユーザー数	新規ユーザー数	リピーター数	平均セッション継続時間	表示回数
543	478	203	6分01秒	2,943

【公式YouTube】

チャンネル登録者数	合計視聴回数 (20試合)	PV視聴回数	開会式視聴回数	閉会式視聴回数
37	1,098	369	92	88

【公式Instagram】

フォロワー数	フォロー数	投稿数	平均いいね数	最多いいね数
186	216	29	21	44

【メディア掲載実績】

日付	掲載先	内 容
2025年 7月 7日	スポーツ庁ポータルサイト「ここスポ」	新着スポーツ情報
2025年 9月 9日	株式会社ジェー・シー・アイ ホームページ	宮城県障害者スポーツ協会と「ゴールドパートナーシップ」締結
2025年11月21日	富谷市ホームページ	県内初！みやぎ小学生ボッチャクラシック2025の開催
2025年11月30日	株式会社ジェー・シー・アイ ホームページ	みやぎ小学生ボッチャクラシック開催
2025年12月 9日	東北福祉大学ホームページ	【理学療法専攻】「みやぎ小学生ボッチャクラシック2025」の運営スタッフとして参加してきました！
2025年12月12日	株式会社マルタマ ホームページ	11月30日「みやぎ小学生ボッチャクラシック2025」サブライサースerviceパートナーに就任！
2025年12月18日	株式会社ミツイ ホームページ	ミツイ社員のこどもが「みやぎ小学生ボッチャクラシック2025」に参加しました！
2026年 1月25日	河北新報朝刊	みやぎジュニアスポーツVol.311
2026年 2月 4日	スポーツ庁「U-SPORT PROJECT」ホームページ	ボッチャ大会開催報告「みやぎ小学生ボッチャクラシック2025～インクルーシブ頂上決戦～」



## みやぎ小学生ボッチャクラシック2025 実行委員会 委員一覧

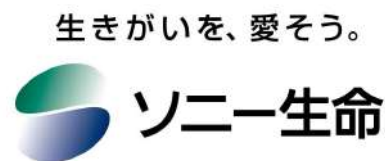
名誉顧問	村 井 嘉 浩	宮城県知事
顧 問	若 生 裕 俊	富谷市長
会 長	佐 藤 敬 広	一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会 理事長
副 会 長	渡 辺 勝 幸	宮城県障害者スポーツ指導者協議会 会長
実行委員	野 呂 英 樹	宮城県保健福祉部障害福祉課 課長
	遠 藤 彰	宮城県教育庁特別支援教育課 主幹
	見 田 茂 紀	宮城県企画部スポーツ振興課 課長
	小 嶋 雄 悦	富谷市生涯学習課 課長
	大 内 義 隆	一般社団法人宮城県作業療法士会 会長
	櫻 井 健太郎	一般社団法人宮城県理学療法士会 事業局長
	森 正 義	社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会 会長
	石 川 明 博	宮城県知的障害者福祉協会 事務局長
	門 脇 敏 昭	宮城県特別支援学校校長会 会長
	望 月 千 尋	宮城県特別支援学校PTA等連絡協議会 会長
	熊 谷 幸 一	公益財団法人宮城県スポーツ協会 事務局長
	石 川 一 美	宮城県スポーツ推進委員協議会 会長
	岸 浪 百 明	宮城県ボッチャ協会 理事
	大信田 和 義	株式会社ジェー・シー・アイ 代表取締役社長
	小 池 可 夏	株式会社オンエモーション 部長
	野 崎 義 和	宮城教育大学 准教授
	高 村 元 章	東北福祉大学 教授
	山 城 秋 美	尚絅学院大学 准教授
	佐々木 健太郎	尚絅学院大学 准教授
	佐々木 広 人	仙台青葉学院短期大学 助教
	片 岡 洋 樹	仙台医健・スポーツ専門学校 理学療法科学科長
事 務 局	坂 口 信 一	一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会 事務局長
	齋 藤 友 規	一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会
	菅 井 知 美	一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会
	置 指 祐 樹	一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会



ゴールドパートナー



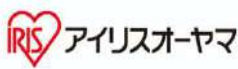
シルバーパートナー



ブロンズパートナー



サプライサービスパートナー



スポーツインテリジェンスパートナー

パブリッシュパートナー



サイト工業株式会社 / 協林工業株式会社 / 株式会社eプランニング / 株式会社鈴木製作所  
太陽地所株式会社 / 日新健工株式会社東北支店 / 株式会社エムズ工業 / 株式会社マイド  
株式会社昭和羽前建設工業 / ミカド電装商事株式会社 / 株式会社くるみの家 / 白十字株式会社  
大王製紙株式会社仙台営業所 / 有限会社穂乃香 / シーホネンス株式会社 / 小野リース株式会社  
DENBA JAPAN株式会社 / 放課後等デイサービス 太陽の子 / 株式会社ミツイ  
株式会社ラフライン / 日進医療器株式会社



# パラスポーツの新たな未来へ。



一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会  
MIYAGI Para-Sports Association



〒983-0836

宮城県仙台市宮城野区幸町4-6-2

TEL:022-257-1005／FAX:022-257-1062

e-mail:kensupo1988@poplar.ocn.ne.jp